伊藤先生の

街かど診療室 Q&A

「めやに」のトラブル

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

眼科に外来受診される方で「めやに」を訴えて来られる方は多いです。この「めやに」、じっくりと診て診断しないと治りにくい場合も多いのです。多くの患者さんは、「めやに」が出たので目薬をくださいと申し出ます。しかし、目薬で治る「めやに」と治らない「めやに」がある のです。

「めやに」の症状があり、白目や赤目が充血している場合は、「細菌性」もしくは「ウィルス」感染、もしくはアレルギーを疑い検査します。「めやに」の性状や流涙の有無、組織の欠損や組織の腫れ、かゆみの有無などをみて感染の種類もしくはアレルギーを判定し、有効な点眼薬を処方します。これを求めて多くの患者さんが眼科に来院します。

しかし、「めやに」の出方や性状、出てくる時間に特徴があり、充血していない場合は、じっくりとまぶたを観察します。皮膚、まつげ、まぶたの皮脂腺であるマイボーム腺を観察するのです。目が乾く、疲れやすい、1日に数度ズキッと痛む、目の周りが涙っぽいなど、ドライアイ様の症状と目やにの訴えがあった場合は、マイボーム腺をチェックします。通常はサラサラしたオイルがにじみ出ているが、治癒する時間はかかります。この場合の「めやに」を直接除去する点眼はないので、対症療法の点眼となるため、受診する度の説明で理解してもらいます。

1日に何度も目がふさがるほどの「めやに」が出る場合は、まつ毛の根元をチェックします。特徴的な所見がある場合は、目の周りのシャンプーを指示します。これは、「まつ毛ダニ」の増殖で異常分泌物によるもので、清潔を保つことで改善します。人間の皮脂腺や毛根には「毛ダニ」が寄生していて共存しているために、目の周囲を温める眼温罨法にてマイボーム腺の循環を促し、ドライアイと目やにを治す方向で指示しますが、治癒する時間はかかります。この場合の「めやに」を直接除去する点眼はないので、対症療法の点眼となるため、受診する度の説明で理解してもらいます。

1日に何度も目がふさがるほどの「めやに」が出る場合は、まつ毛の根元をチェックします。特徴的な所見がある場合は、目の周りのシャンプーを指示します。これは、「まつ毛ダニ」の増殖で異常分泌物によるもので、清潔を保つことで改善します。人間の皮脂腺や毛根には「毛ダニ」が寄生していて共存していますが、免疫が落ちたり不潔な環境（化粧品が落ちきっていない等）でバランスが崩れると不快な「めやに」が増殖します。

「めやに」といっても いろんな種類がありますので、近くの眼科で診断してもらい、適切な治療を受けましょう。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
http://www.itoganka.com/

■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療

■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応　※月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:30	○	○	○	／	○	○	／
14:00～17:00	検査予約優先	手術	検査予約優先	／	手術	／	／